

平成24年経済センサス-活動調査でみる鳥取県

～卸売業・小売業に関する結果から～

経済センサス-活動調査は、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を明らかにすることを目的に、初めて実施されました。卸売業・小売業の詳細な調査は平成19年商業統計調査以来です。

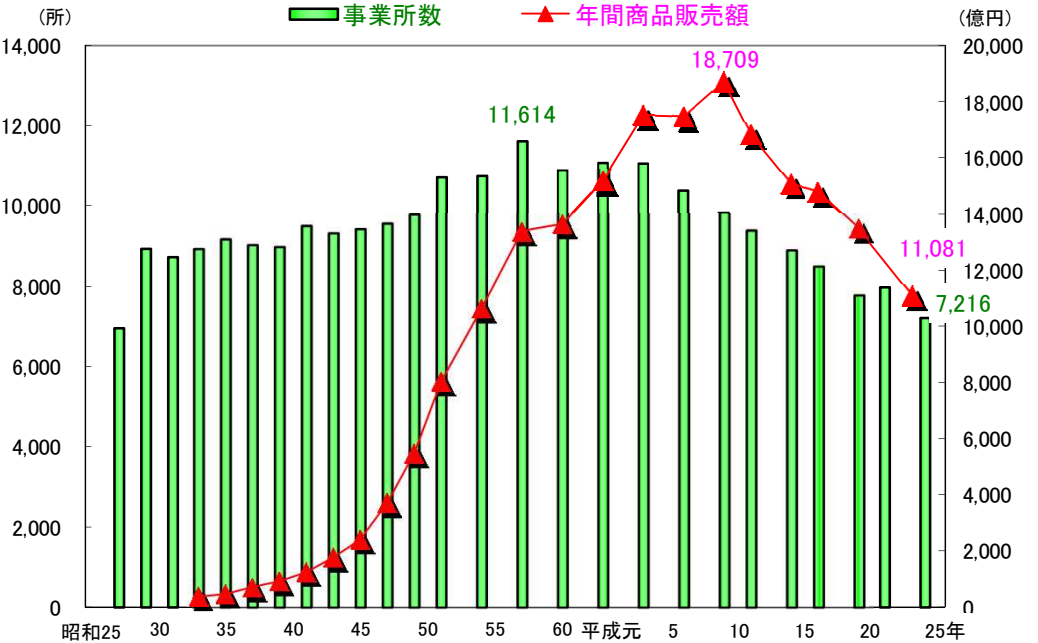
事業所数と年間商品販売額の推移（昭和27～平成24年）

事業所数は7,216事業所で、平成21年「経済センサス-基礎調査」の結果と比較すると、卸売業及び小売業の合計が7,983事業所で、767事業所の減少となりました。

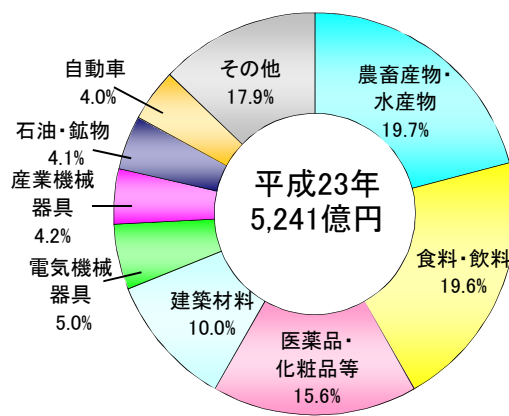
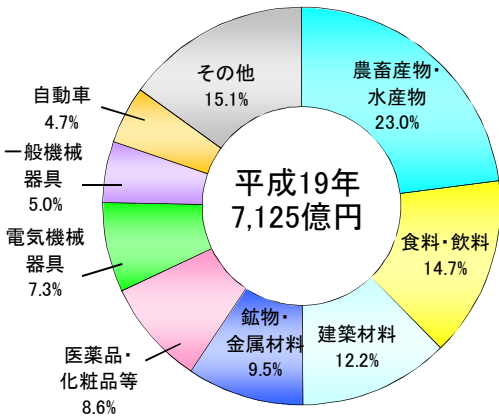
平成19年以前の「商業統計調査」の結果とは対象事業所の把握方法が異なりますが、昭和57年をピークに減少傾向にあります。

年間商品販売額は、卸売業及び小売業の合計が11,081億円で、平成9年以降減少が続いています。

※平成24年事業所数及び平成23年年間商品販売額は「経済センサス-活動調査」、平成21年は「経済センサス-基礎調査」、平成19年以前は「商業統計調査」の結果。

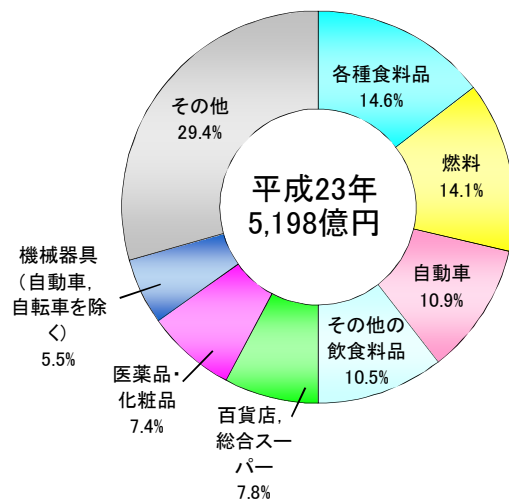
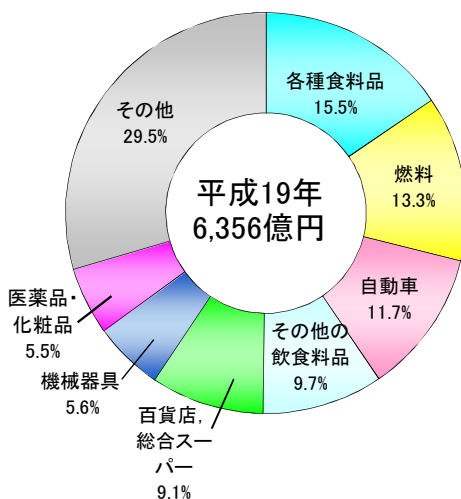


業種別年間商品販売額の構成比（卸売業）



卸売業の業種別年間商品販売額構成比を平成19年（商業統計調査）と比較すると、いずれも占める割合が高い順に「農畜産物・水産物」「食料・飲料」となっていますが、平成23年については「医薬品・化粧品等」が続いています。年間商品販売額は、約1,884億円の減少となっています。

業種別年間商品販売額の構成比（小売業）



小売業の業種別年間商品販売額構成比を平成19年（商業統計調査）と比較すると、どちらも占める割合が高い順に「各種食料品」「燃料」「自動車」「その他の飲食料品」と続き、大きな変化は見られません。年間商品販売額は約1,158億円の減少となっています。